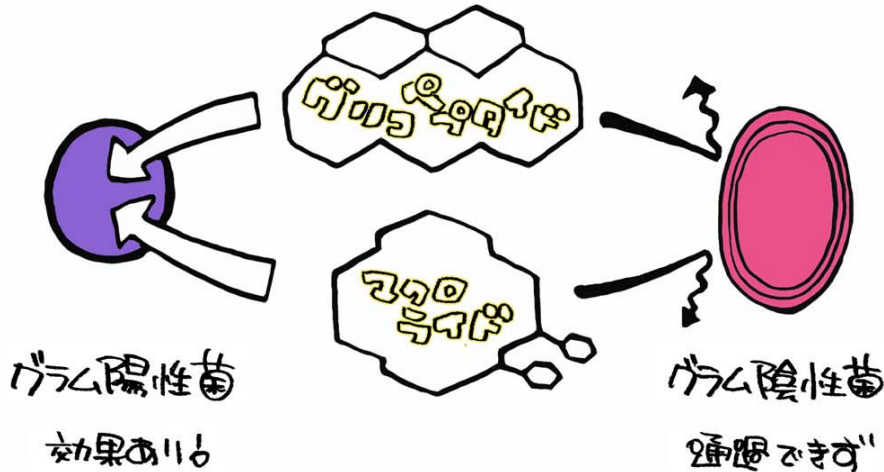


MIS_t18 抗生物質（抗菌薬）Part 4

～イドームの法則～

グリコペプチド（グリコペプチド）系およびマクロライド系の薬剤は、分子量が大きいため（通常量の使用では）グラム陰性菌の三層構造外膜を通り抜けることが困難である。従って、これらの薬剤はグラム陰性菌に対する効果は期待できない。



◇法則が発見された状況◇

おや、グリコペプチドとマクロライドはどちらも語尾に「イド」がついてるな。この「～イド」という抗菌薬はグラム陰性菌外膜のポーリン孔を通り抜けることが難しいらしい。特にグリコペプチドは大きすぎて絶対通過できないようだ。

「～イド」はグラム陰性菌に効果なしってことか。ちょっとノートに書いておこう。

～イド系 G(-)菌 効果×を

なんかごちゃごちゃしちゃうからもっとシンプルに「イド」「-」「×」だけ書こう

イド - ×

あ、「イドーム」だって。これだ。

分類	グリコペプチド系		マクロライド系	
働き方	細胞壁合成阻害剤		タンパク合成阻害剤	
一般名	バンコマイシン	テイコブラニン	エリスロマイシン	クラリスロマイシン
効果がある菌	MRSA クロストリジウム ディフィシル	MRSA	グラム陽性菌 クラミジア マイコプラズマ 一部のグラム陰性菌	グラム陽性菌 クラミジア マイコプラズマ 一部のグラム陰性菌

マクロライドは一部のグラム陰性菌（カンピロバクター、レジオネラ、インフルエンザ菌、ピロリ菌など）にも有効。また細胞内移行性が高いため、クラミジア、マイコプラズマにも効果が有る。

注意：一般的に glycopeptide は「グリコペプチド」ではなく「グリコペプチド」と呼ばれる方が圧倒的に多いようです。

しかしここでは我慢して、グリコペプチドと発音して下さい

他に語尾「イド」のものとして「ケトライド系抗菌薬」があります。ここには含めていませんが、これもマクロライド系薬の流れをくむ抗菌薬であり、対象とする菌（効果がある菌）はマクロライド系のものに準じています（つまり、この「ケトライド」も分子量が大きいので、「イドーム」の中に含めていいよ、ってことです）